

コゴミ タラの芽などを食べ終えて、桜の花見も終了。緑の新芽があちこちで伸び始め、林檎の花が満開。ゴールデンウィーク終了ではなく、これから突入ですが。

と言うように、二週間ばかり季節が早いのに、なんだか朝晩の冷え込みが厳しい毎日です。こんな春の訪れの中で、新学期が始まりました。昨年は コロナの感染で、ゆっくりと大地の美しい光景をじっくり見ることができませんでした（と言っても、大地での隔離でしたので、毎日朝から晩まで薪作業で忙しく働いていた）、今年は 桜が満開になる前後 冷え込みが激しかったので、長期間 花が散らずに咲いていました。

なんと言っても、出会いの会の朝の雪景色と桜の花と青空。劇的な美しさの夜明けでした。本当に、ここに住んでいて良かった、何て幸せなんだろう、雪の白い絨毯の上に ピンクの桜の花びらが輝き、透き通った青空、小鳥たちが、桜の花びらを揺すりながら、さえずり ミツバチが飛んでいる朝。いつもなら、一週間ほど遅れて開く八重桜も、揃い咲きして、素晴らしい花の大地になりました。

更に コゴミが開き、タラの芽が、いつの間にか膨らんでいる。タラの芽は なんと言っても天ぷらが一番、天ぷらなら 蕎麦しかないでしょ！！ 慣らし保育中にもかかわらず、今しかない大地の恵みを子どもたちにと、天ぷら蕎麦をごちそうし、これでタラの芽は終了と思いきや。次週もまだまだ収穫できて、またまた本格的に、温かい天ぷら蕎麦定食（おにぎり付き）を味わいました。（まさに蕎麦屋並 毎月 10 キロ以上の蕎麦粉消費！！）子どもたちは、将来かなりの蕎麦通になりそうです。まあ、なんと言っても、蕎麦 うどん ラーメン ご飯 パン ベーコンなどを生み出すガンガーの機能は、最高です。これからも フル活用していきますし、大人の皆さんもぜひご利用マスターして下さい。



食も、子どもたち 大人にとっても楽しみです。【収穫してから、できてから 口に入るまでの時間が短ければ短いほど美味しい】をモットーにしていきたいですね。

【模様替え】

時間に余裕ができてくると 何か模様替え リフォーム 造作 大工仕事して見たくなるのが性分です。何か 作りたいくなる、創造的なことをしたくなる、料理も遊びも全てですが。

新学期、外環境は、雪解け早く、3月の年長児ご家族さん達のご協力のもとで、ほぼ綺麗に整備されていました。ありがとうございます。そこで、今度は 室内に眼を向けました。今年は 室内遊び 手仕事 そして、より落ち着いて室内遊びができるように、粘土やお絵かきも充実できるようにと思っていたところ、まず 室内のレイアウトを変えてみようとしてホールに足を踏み入れました。

子どもが 落ち着いて遊べないのは 集中して遊べないのは しっかり話が聞けないのは 飽きっぽいのは 片付けがうまくできないのは などの原因は、環境設定によることが多いものです。話が聞けないのは、その話が魅力的でないということと同じように、魅力のある 心が躍るような環境になっていないことが多いものです

自分自身の子供心の観点から、室内遊具 環境を再度考えてみました。絵を描く場所 濁った粘土 広すぎるスペース 遊びきれていない人形の部屋 想像的に遊べない玩具 使われていない道具やしまってあるままの道具類。あちこち見回すと、俄然 やる気が出てきました。

①粘土が濁っている。②お絵かき粘土スペースが狭く、取り出しにくい ③以前作った衣装お着替え部屋が 孤立している ④走り回るスペースが広い ⑤立ち人形が立たない ⑥裂き折りの台が、きれいじゃない ⑦奥の人形の部屋では、お人形を大切に可愛がっている遊びが見受けられない。 ⑧木製の赤ちゃんベッドがきれいじゃない ⑨立ち人形などで 人形劇遊びをしていない ⑩隣の部屋（ままごと部屋キッチン）と一体となって遊べない（普段の暮らしの家のようになっていない） ⑪刺繍や針仕事などの道具が、お蔵入りしている…… などなどあら探しして、一つ一つクリアして見ようと思いました。自分が 子どもになってみて、どんな風に遊びたいか 暮らしの模倣と言うことで、どんな普段の大人の暮らしをまねしたいか などと考察。まだ器用じゃない子どもたちにとって、メルヘンとファンタジーの子どもたち（幼児の6つの特色）に照らし合わせて考えるのが 一番の判断材料です。

①粘土は単色にする。 ②テーブルを広くして、粘土置き場などを変える ③お着替えの洋服（忍者やドレスなどの衣装）をリビング（ままごと部屋）に移動する事で、家と同じレイアウトになる ④手仕事のテーブルを増やすことで、結果的に狭くなる ⑤立ち人形を修繕 ⑥台に布を張る ⑦レイアウト お人形遊びのお道具、授乳したりご飯をあげたりして遊ぶ道具を準備 ベンチやテーブルを装備 ⑧天蓋ベッドを作る（ミシン作業）⑨ 人形劇ができるように、立ち人形の修繕 シルクの布 舞台の小道具などの準備 ⑩遊び人形部屋とままごと部屋の壁に通路をつける（得意な大工仕事） ⑪針仕事や刺繍台の修繕とリニューアルなど

そして、大切なのは 事前に 年齢毎に 子どもたちに 静かに 遊び方を伝える。そして、しばらくの間、スタッフが一緒に楽しく遊ぶ事。そして、より魅力的に遊べるように、玩具や道具の量や質を考えていくことです。

こんな感じで、待望の室内遊びが始まりました。自然保育と位置づけられている（長野県より）大地では、子どもたちは、室内遊びも 大好きで、それだけ 幼児は 静と動 芸術的な、囲まれた室内遊びが大好きなのは 当然ですね。

先日、そっと覗いて見ると、予想通り、落ち着いて各コーナーで遊んでいます。特に、人形劇のコーナーでは、なんと 星の銀貨 で盛り上がっていました。「人形劇がはじまるよ」のシルクの開け閉めも大好きです。やはり、人形劇は、見れば見るほど、子どもたちの遊びが深まります。普段の大人の暮らしの模倣が、ほとんどの幼児の遊びに反映されていきます。よって、小さな幼児版の家 部屋 道具などの環境を整えていけばいいわけです。

そして いつも作っている時は、子どもたちがどう遊ぶか 魅力的に継続的に飽きないで遊べるかを、頭に描きながら 行っていきます。あくまでも子ども目線で、そして、片付けやすい わかりやすい 方法で作っていきます。

一流の料理人は、作りながら 同時に 片付けの時のことを考えながら、やっていく、そして、できあがったときはほぼ片付けやすい状況になっている 片付いている と聞いたことがあります。だから、制作するときは、子どもたちが 片付けやすいようにそれを描いて作ることが大切ですね。

でも、子どもたちは 後先考えずに、とにかく 魅力的な玩具をドンドン出して、決して 先を考えない 現在に全力投球する 今に生きるのが子どもです。だから エネルギーいっぱい元気です

過去を悔やみ 明日 未来を憂う のが大人 子どものように 今を全力で生きたいですね！！